



あずさ監査法人

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

財務諸表並びに
独立監査法人の監査報告書

自 2018年 1月 1日
至 2018年12月31日

有限責任 あずさ監査法人
2019年3月

独立監査人の監査報告書

2019年3月18日

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
会長 加藤寛幸殿

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士
業務執行社員

野村哲明 

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団日本の2018年1月1日から2018年12月31日までの2018年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産、正味財産増減及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

貸借対照表

2018年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	増減比
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金および預金	1,354,727,063	987,841,608	366,885,455	37.1%
未収入金 (注1)	110,361,137	102,488,926	7,872,211	7.7%
前払費用	12,553,957	10,748,630	1,805,327	16.8%
立替金 (注2)	90,131,448	84,367,840	5,763,608	6.8%
その他流動資産	15,003,429	15,168,584	△ 165,155	△1.1%
流動資産合計	1,582,777,034	1,200,615,588	382,161,446	31.8%
2. 固定資産				
1) 特定資産				
人道援助プログラム支援金積立資金 (注3)	17,521,000	-	17,521,000	-
2) その他の固定資産				
建物附属設備 (財務諸表注記7.参照)	27,897,075	38,004,702	△ 10,107,627	△26.6%
事務用什器・備品 (財務諸表注記7.参照)	22,651,992	19,396,404	3,255,588	16.8%
ソフトウェア (財務諸表注記7.参照)	26,072,191	2,178,446	23,893,745	1,096.8%
長期差入保証金等	41,573,000	40,813,000	760,000	1.9%
固定資産合計	135,715,258	100,392,552	35,322,706	35.2%
資産合計	1,718,492,292	1,301,008,140	417,484,152	32.1%
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金 (注4)	763,312,559	352,680,236	410,632,323	116.4%
預り金等	2,074,185	21,070,366	△ 18,996,181	△90.2%
流動負債合計	765,386,744	373,750,602	391,636,142	104.8%
2. 固定負債				
退職給付引当金 (財務諸表注記8.参照)	39,766,900	37,218,300	2,548,600	6.8%
固定負債合計	39,766,900	37,218,300	2,548,600	6.8%
負債合計	805,153,644	410,968,902	394,184,742	95.9%
III. 正味財産の部				
指定正味財産	17,521,000	-	17,521,000	-
一般正味財産 (財務諸表注記15.参照)	895,817,648	890,039,238	5,778,410	0.6%
正味財産合計	913,338,648	890,039,238	23,299,410	2.6%
負債および正味財産合計	1,718,492,292	1,301,008,140	417,484,152	32.1%

(注1) 外部の委託業者により支援者からの回収が済んでいる寄付金(支援者口座からの引落しは、当年度末日までに完了)のうち、当年度末日現在、同委託業者から未入金のもの。

(注2) MSFフランス、MSFスイス等のオペレーション事務局およびインターナショナル・オフィス等に対して、国内で立替えた海外派遣スタッフ等に関する経費等である。

(注3) 流動資産の現金および預金から振り替えたものであり、本年度に受領した指定寄付のうち、約定により翌年度に人道援助プログラム支援金として使用するものである。財務諸表に対する注記 5.参照。

(注4) MSFフランス、MSFスペインおよびMSFスイスに対する、プログラム支援金 計492,259,091円を含む。

キャッシュ・フロー計算書

自 2018年1月1日 至 2018年12月31日

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 人道援助活動によるキャッシュ・フロー			
1. 民間等からの支援金等による収入			
(1) 寄付金収入	8,447,002,096	7,856,995,693	590,006,403
① 一般個人からの寄付収入	7,837,281,747	7,191,349,615	645,932,132
② 一般法人からの寄付収入	526,938,166	579,517,777	△ 52,579,611
③ その他団体からの寄付収入	82,782,183	86,128,301	△ 3,346,118
(2) 助成金等による収入	409,935,810	364,220,774	45,715,036
外務省国際機関等拠出金	149,564,903	-	149,564,903
他のMSF事務所からのグラント等	260,370,907	364,220,774	△ 103,849,867
(3) その他の収入	2,989,508	2,561,919	427,589
支援金等によるキャッシュ・フロー ①	8,859,927,414	8,223,778,386	636,149,028
2. 内外での人道援助活動による支出			
(1) ソーシャル・ミッション支出			
a) 人道援助活動のための支出	△ 6,315,707,531	△ 5,803,383,125	△ 512,324,406
① 人道援助プログラム支援金	△ 6,136,909,951	△ 5,628,488,070	△ 508,421,881
② オペレーション・サポート・プロジェクト	△ 49,722,493	△ 55,579,131	5,856,638
③ 海外派遣スタッフ募集・派遣業務	△ 99,700,554	△ 94,517,178	△ 5,183,376
④ アドボカシー活動費	△ 29,374,533	△ 24,798,746	△ 4,575,787
b) 広報・証言活動に係る支出	△ 265,408,583	△ 367,809,977	102,401,394
ソーシャル・ミッションによるキャッシュ・フロー ②	△ 6,581,116,114	△ 6,171,193,102	△ 409,923,012
(2) 募金活動に係る支出 ③	△ 1,385,069,769	△ 1,704,766,139	319,696,370
(3) マネジメントおよび一般管理費 ④	△ 178,371,979	△ 190,503,551	12,131,572
(4) その他海外向け支援金等 (財務諸表 注記4.参照) ⑤	△ 297,048,315	△ 386,884,499	89,836,184
(5) 人道援助活動のキャッシュ・フローを導出する為の調整 ⑥	△ 9,029,729	86,614,062	△ 95,643,791
その他資産・負債の増減による調整	△ 9,029,729	86,614,062	△ 95,643,791
人道援助活動によるキャッシュ・フロー合計 ⑦=(②+③+④+⑤+⑥)	△ 8,450,635,906	△ 8,366,733,229	△ 83,902,677
人道援助活動によるネット・キャッシュ・フロー ⑧=(①+⑦)	409,291,508	△ 142,954,843	552,246,351
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
(1) 差入保証金の返還による収入	936,000	7,198,780	△ 6,262,780
(2) 差入保証金の支出	△ 1,696,000	△ 1,188,000	△ 508,000
(3) 固定資産等の取得支出	△ 41,576,746	△ 61,434,185	19,857,439
投資活動によるキャッシュ・フロー ⑨	△ 42,336,746	△ 55,423,405	13,086,659
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑩	-	-	-
IV. 現金および現金同等物に係る換算差額 ⑪	△ 69,307	28,869	△ 98,176
V. 現金および現金同等物の増減額 ⑫=(⑧+⑨+⑩+⑪)	366,885,455	△ 198,349,379	565,234,834
VI. 現金および現金同等物の期首残高 ⑬	987,841,608	1,186,190,987	△ 198,349,379
VII. 現金および現金同等物の期末残高 ⑭=(⑬+⑫)	1,354,727,063	987,841,608	366,885,455

(注1) 資金の範囲: 資金の範囲には現金および現金同等物を含めている。

(注2) 重要な非資金取引: 現物寄付、合計24,233,419円は非資金取引として調整されている。

財産目録

2018年 12月31日 現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金および預金 (財務諸表注記4参照)	1,354,727,063	987,841,608	366,885,455
手許現金	1,821,583	1,966,517	△ 144,934
普通預金 (株三菱UFJ銀行)	642,479,613	433,182,991	209,296,622
普通預金 (株三井住友銀行)	125,631,375	61,941,578	63,689,797
普通預金 (株みずほ銀行)	16,795,623	4,759,548	12,036,075
振替貯金 (株ゆうちょ銀行)	463,709,078	376,100,995	87,608,083
普通預金 (楽天銀行(株))	3,287,927	8,023,412	△ 4,735,485
普通預金 (住信SBIネット銀行(株))	1,001,864	1,866,567	△ 864,703
普通預金 (住友信託銀行(株))	-	-	-
普通預金 (三菱UFJ信託銀行(株))	-	-	-
定期預金 (株三井住友銀行)	100,000,000	100,000,000	-
未収入金	110,361,137	102,488,926	7,872,211
寄付金回収委託会社からの未収金 (注1)	101,556,354	100,725,687	830,667
MSF韓国からのグラント未収金	7,678,650	-	7,678,650
その他	1,126,133	1,763,239	△ 637,106
前払費用	12,553,957	10,748,630	1,805,327
立替金	90,131,448	84,367,840	5,763,608
MSF フランス (東京分室の経費)	35,262,017	28,418,660	6,843,357
MSF インターナショナル・オフィス等	13,754,211	19,611,692	△ 5,857,481
MSFオペレーション5事務局 (海外派遣者経費)等	41,115,220	36,337,488	4,777,732
その他流動資産	15,003,429	15,168,584	△ 165,155
金地金	14,814,343	14,997,533	△ 183,190
貯蔵品	37,802	35,358	2,444
仮払金	151,284	135,693	15,591
流動資産合計	1,582,777,034	1,200,615,588	382,161,446
2. 固定資産			
1) 特定資産			
人道援助プログラム支援金積立資金 (注2)	17,521,000	-	17,521,000
2) その他固定資産			
建物附属設備 (財務諸表注記7.参照)	27,897,075	38,004,702	△ 10,107,627
事務所内装工事(空調・電気・LAN回線)	27,897,075	38,004,702	△ 10,107,627
事務用什器・備品 (財務諸表注記7.参照)	22,651,992	19,396,404	3,255,588
什器	7,251,443	10,374,291	△ 3,122,848
器具備品	14,178,147	6,390,977	7,787,170
ビデオ機器	1,222,402	2,631,136	△ 1,408,734
ソフトウェア (財務諸表注記7.参照)	26,072,191	2,178,446	23,893,745
長期差入保証金等	41,573,000	40,813,000	760,000
事務所等の敷金	41,573,000	40,813,000	760,000
固定資産合計	135,715,258	100,392,552	35,322,706
資産合計	1,718,492,292	1,301,008,140	417,484,152
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金(人道援助プログラム支援金)	492,259,091	100,000,000	392,259,091
MSF フランス	348,259,091	70,000,000	278,259,091
MSF スペイン	96,000,000	20,000,000	76,000,000
MSF スイス	48,000,000	10,000,000	38,000,000
未払金(国内事業経費・その他)	271,053,468	252,680,236	18,373,232
ファンドレイジング・キャンペーン関連費用	126,888,895	129,134,253	△ 2,245,358
その他の費用	144,164,573	123,545,983	20,618,590
預り金等	2,074,185	21,070,366	△ 18,996,181
その他	2,074,185	2,050,456	23,729
包括遺贈による寄付金のうち返金予定分	-	19,019,910	△ 19,019,910
流動負債合計	765,386,744	373,750,602	391,636,142
2. 固定負債			
退職給付引当金 (財務諸表注記8.参照)	39,766,900	37,218,300	2,548,600
固定負債合計	39,766,900	37,218,300	2,548,600
負債合計	805,153,644	410,968,902	394,184,742
III. 正味財産の部			
指定正味財産	17,521,000	-	17,521,000
一般正味財産 (財務諸表注記15.参照)	895,817,648	890,039,238	5,778,410
正味財産合計	913,338,648	890,039,238	23,299,410
負債および正味財産合計	1,718,492,292	1,301,008,140	417,484,152

(注1) 外部の委託業者により支援者からの回収が済んでいる寄付金(支援者口座からの引落しは、当年度末日までに完了)のうち、当年度末日現在、同委託業者から未入金のもの。

(注2) 流動資産の現金および預金から振り替えたものであり、本年度に受領した指定寄付のうち、約定により翌年度に人道援助プログラム支援金として使用するものである。財務諸表に対する注記 5.参照。

財務諸表に対する注記

1. 財務諸表の作成基準

国境なき医師団日本 (Médecins Sans Frontières Japon, 以下"MSF 日本") の財務諸表は、日本において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準 (平成 16 年 10 月 14 日改正) に基づいて作成されている。同基準は国際財務報告基準 (International Financial Reporting Standards) が求める適用要件や開示上の要件とは、いくつかの点で相違している。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 定額法によっている。(耐用年数は建物附属設備および什器は 3~5 年、器具備品およびビデオ機器は 3 年)
- ② ソフトウェア 定額法によっている。(耐用年数は 3 年)

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 職員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(3) 収益の認識

寄付収入は原則として、現金主義に基づき認識している。ただし、一部の未収寄付金のうち送金通知書により回収額および MSF 日本への入金時期が確定し、かつ支援者に領収書を発行しているものについては、当年度の収益として認識している。

現物寄付の扱い

MSF 日本は金銭以外にも、現物寄付として、医薬品、ICT 機器、ソフトウェア、マイレージ、切手等、株主優待券およびプロボノによる役務提供の支援を受けている。これらの現物寄付は取得時に合理的に価額を見積もり、“寄付収入”として認識し、事業供用時に費用を計上している。

(4) 経常費用について

費用については、以下の主要な事業活動別に区分して表示している。なお、各事業活動に共通の間接経費については、年間実労働時間に基づいて算出した、各事業活動別の総職員数で按分し、それぞれ以下の事業活動に配分している。

(4)-1) ソーシャル・ミッション

① 援助活動費

パートナーシップ協定を結ぶオペレーション事務局である、MSF フランス、MSF スペインおよび MSF スイス、ならびに MSF オランダ、MSF ベルギーが世界各国・地域で運営する、人道援助プログラムに対し支援金を供与している。

② オペレーション・サポート・プロジェクト

アジアを含む世界各地での人道援助活動に寄与すべく、医療およびロジスティクスの面で、革新的な研究・開発、また創意工夫による改善に取り組むと共に、活動地で用いる物資を日本から直接調達する可能性についても検討を行っている。

③ 海外派遣スタッフ募集・派遣業務

MSF 日本は 5 つのオペレーション事務局の人材ニーズに応じ、フィールドにて人道援助プログラムに従事するスタッフの採用手続き、海外派遣説明会等を実施すると共に、ビザ取得等の渡航準備、および各種の渡航前国内トレーニングを実施した後に海外の活動地に派遣している。

④ アドボカシー活動費

MSF の各事務局と連携し、各国政府、国際機関、製薬会社等に対し、働きかけを行っている。

⑤ 広報活動費

MSF 日本は、主要なミッションの一つとして、世界各地での人道的医療援助活動の現場での最新情報について、出版物、ウェブサイト、展示会ならびに各メディアを通して、既存の支援者および一般社会等に対して周知活動を行っている。

(4)-2) 募金活動費

MSF 日本は、援助活動に充てる十分な資金を確保するため、さらなる支援者を募ることを目的として、ダイレクトメールおよび既存の支援者向けのニュースレター送付等による、募金キャンペーンを行っている。

(4)-3) マネジメントおよび一般管理費

マネジメント、および人事・財務・総務・ICT 等の管理部門の間接経費である。

(4)-4) その他海外向け支援金

MSF インターナショナル事務局は、ネットワークで結ばれた MSF 全事務局、およびその他の MSF 関連組織の間の調整業務を担う組織で、その運営費については、MSF の全事務局が応分の負担をしている。また、同事務所経由で、必須医薬品キャンペーンならびに DNDi (非営利団体:「顧みられない病気のための新薬イニシアティブ」) に対し資金を援助している。なお、MSF 韓国事務所活動支援金については、本注記 14. を参照。

(5) 消費税等の会計処理 税込方式によっている。

3. 為替変動リスクのヘッジ

MSF 日本は、人道援助プログラム支援金の一部を外貨にて送金している。送金に際しては外国為替相場の変動の影響を緩和するために、適宜先物為替取引を活用している。なお、投機目的では使用しない。

4. 表示方法の変更

(正味財産増減計算書、キャッシュ・フロー計算書)

前年度において、正味財産増減計算書の(2)経常費用のうち、ソーシャル・ミッションとして表示した、①援助活動費、④アドボカシー活動費、ならびにマネジメントおよび一般管理費に含まれていた、DNDiへの支援金、必須医薬品キャンペーン支援金、MSF インターナショナル事務局経費、およびMSF 韓国事務所活動支援金は、いずれもMSF 日本による活動との直接的な関連性が乏しいことに鑑み、活動をより明瞭に区分するため、当年度から「その他海外向け支援金等」として表示している。

また、正味財産増減計算書の表示方法の変更に伴い、前年度のキャッシュ・フロー計算書において、2.内外での人道援助活動による支出、(1)「ソーシャル・ミッション支出 a)人道援助活動のための支出として表示した、①人道援助プログラム支援金、④アドボカシー活動費、ならびに(3)マネジメントおよび一般管理費に含まれていた、上記の各支出についても当年度から、「(4) その他海外向け支援金等」として一括表示している。なお、これら表示方法の変更に伴い前年度についてもそれぞれ必要な組替えを行った。

(財産目録)

現金および預金は、その所在の明瞭性を高めるため、当年度より口座を保有する全ての金融機関毎に残高を表示している。なお、前年度についても同様に組替えを行った。

5. 基本財産および特定資産の増減額ならびにその内訳

当年度において指定正味財産として受け入れた資金のうち、東京マラソン財団から受領した、2019年3月実施の東京マラソンに関連するチャリティ寄付金17,521,000円については、約定に従い、翌年度において指定された国での人道援助活動プログラムに配分するため、当年度末において相当額を「現金および預金」に代えて「固定資産の部」に「特定資産」として表示している。

6. 担保に供している資産

該当事項はない。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当年度末残高

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 年 度 末 残 高
建 物 付 属 設 備	51,494,334	23,597,259	27,897,075
事 務 用 什 器 ・ 備 品	80,914,155	58,262,163	22,651,992
仕 器 具 ・ 備 品	21,031,294	13,779,851	7,251,443
ビ デ オ 機 器	53,873,232	39,695,085	14,178,147
	6,009,629	4,787,227	1,222,402
ソ フ ト ウ ェ ア	87,659,271	61,587,080	26,072,191
小 計	220,067,760	143,446,502	76,621,258
リース資産(ドナー情報管理システム等)	63,392,091	63,392,091	-
総 計	283,459,851	206,838,593	76,621,258

8. 退職給付引当金

- (1) 採用している退職給付制度の概要 内部規定に基づき、退職一時金制度を設けている。
 (2) 退職給付債務およびその内訳 退職給付債務 39,766,900 円、 退職給付引当金 39,766,900 円
 (3) 退職給付費用 12,874,100 円

9. 保証債務等の偶発債務

該当事項はない。

10. 補助金等の内訳ならびに交付者、当年度の増減額および残高

該当事項はない。

11. 関連当事者との取引の内容

該当事項はない。

12. 重要な後発事象

該当事項はない。

13. 当年度の人道援助プログラム支援金の配分内訳

(単位:円)

配分先	源泉	国内支援者(個人/法人)からの寄付	外務省からの助成金	MSF韓国からのグラント注)	プログラム支援金 合計
MSFフランス		4,264,285,243	52,665,200	268,049,557	4,585,000,000
MSFスペイン		1,216,000,000	-	-	1,216,000,000
MSFスイス		608,000,000	-	-	608,000,000
MSFオランダ		-	95,754,792	-	95,754,792
MSFベルギー		16,076,250	-	-	16,076,250
合計		6,104,361,493	148,419,992	268,049,557	6,520,831,042

注) MSF 韓国との取引については、以下 14.をご参照。

14. MSF 韓国との取引

当年度において、MSF 日本はMSF 韓国に対し、活動支援費として計127,213,471円を拠出した。一方、MSF 日本は、2018年度において、韓国国内での民間寄付収入のうち、計268,049,557円相当分をグラントとして受領した。この資金配分はMSF スイスとの覚書に基づくもので、経常収益として計上し、同額をプログラム支援金としてオペレーション事務局に配分した。

15. リザーブ・ポリシー(剰余金の方針)

MSF 日本はリザーブ・ポリシーに従い、一般正味財産(以下、剰余金)として、海外への支援金等を除いた、年間国内総経費の月平均の最大5ヵ月分を留保する。自然災害等による緊急援助活動への円滑な対応、および予期せぬ経済変動による資金需給への影響を緩和するためである。当年度末の剰余金残高の水準は、4.9ヵ月である。